

2016年7月23日、安曇野ちひろ公園が生まれ変わりました

安曇野ちひろ美術館の周囲に広がる安曇野ちひろ公園（松川村営）の北側エリア約17,000㎡が拡充され、松川村の豊かな「食」「農」「いのち」を体験的に学べる公園（53,500㎡）として、2016年7月23日にオープンしました。

雑木林ゾーン

松川村に古来から生息する樹木から成る雑木林で豊かな自然と触れ合えます。

ちひろの黒姫山荘

パツオウスカーの庭

安曇野ちひろ美術館

大花壇

第2駐車場

第1駐車場

至 大町市

至 安曇野市

農業体験ゾーン

松川村の畑の先生たちと一緒に、作物の植え付けや収穫などを体験することができます（要予約）。

体験交流館

松川村の郷土食づくりや収穫した野菜の調理体験ができます（要予約）。
観光情報を紹介する情報ターミナルの役割も備えています。

トットちゃん広場

黒柳徹子（ちひろ美術館 館長）の文といわさきちひろの絵で、世界中で愛される『窓ぎわのトットちゃん』（講談社1981年刊）の物語にちなみ、トットちゃんが通っていたトモエ学園の電車の教室が再現されています。